

**ハーモニーパークの指定管理者の任意指定に対する
外部有識者の意見及び評価結果について**

令和 7 年 1 1 月 7 日
土木建築部公園・生活排水課

ハーモニーパークの指定管理者を任意指定するにあたり、任意指定候補者から提出のあった書類について外部有識者からの意見聴取を行いましたので、結果をお知らせします。

1 任意指定の相手方

- (1) 名 称 株式会社サンリオエンターテイメント
- (2) 代表者名 代表取締役社長 小巻 亜矢
- (3) 所 在 地 東京都多摩市落合 1 丁目 3 1 番地

2 外部有識者

- 鍵和田 又一 (大分短期大学准教授)
- 村松 政幸 (公認会計士・税理士)
- 宮野 幸岳 (大分県立芸術文化短期大学准教授)

3 外部有識者の意見

- ハーモニーランドは都市公園ハーモニーパーク内にあり、一体的に構成されている。このため、公園の効率的な管理運営や公園利用者の安全、質の高いサービスを確保するためには、植木等の植栽管理、施設設備の維持管理、清掃業務、保安警備といった業務について、ハーモニーランドの運営主体である(株)サンリオエンターテイメントの有する人員や設備・機材等の資源を活用し、一体的に実施することが適切。
- 区域ごとに異なる主体が管理を担った場合、植栽や施設設備の維持水準に差が生じたり、境界線に沿ってサービスの質に不均衡が生じたりすることは避けられない。さらに、来場者の急病や怪我、地震や台風などの災害発生時には、対応責任の所在が分散し迅速な処置に遅れが生じる可能性もある。利用者側においても、ハーモニーパークとハーモニーランドとで管理者が違うという認識は少ないと考えられ、トラブルが生じた場合の迅速な対応という点でも、両施設が一体的に管理される方が望ましい。
- ハーモニーパーク利用者のほとんどがハーモニーランドの来園者である。自社の収益増と公園側の利用者増がリンクしており、ハーモニーランドの広告活動がそのままハーモニーパークの来園者増につながるメリットは非常に大きい。

- 利用者アンケートやモニタリング報告を通じて効果を検証し、改善のサイクルを回している点は、観光施設の質的向上に直結する。今後も、増加するインバウンド観光客への対応や暑熱対策の強化に加え、顧客満足度をより精緻に把握する仕組みの導入を継続的に検討していくことが望ましい。
- 財務的基盤については、債務超過状態が続いていたものの、コロナ明けより黒字基調が定着し、2025年3月期においては、2,454百万円の当期純利益を計上し、△1,541百万円の債務超過を脱却し、純資産は913百万円のプラスへと改善した。2026年度第1四半期の決算短信によると、売上は前期3,408百万円から当期4,181百万円へ、営業利益は前期544百万円から当期789百万円と好調を持続しており問題はない。
- これらを総合的に判断した結果、ハーモニーパークの指定管理者として株式会社サンリオエンターテイメントを指定することは問題なく妥当である。

4 所管課の意見及び評価結果

- 外部有識者からの意見書にもあるとおり、株式会社サンリオエンターテイメントが運営するハーモニーランドは都市公園「ハーモニーパーク」と一体的に構成されており、この特性を最大限生かすことで、効率的かつ適切な管理・運営や、都市公園の更なる利用促進が期待できる。また、財政的基盤も安定してきており、今後5年間の管理・運営についても問題ないものと考えられる。
- なお、県民意見の募集（パブリックコメント）において県民からの意見はなかった。
- 以上から、ハーモニーパークに係る指定管理者として(株)サンリオエンターテイメントを任意指定することについては妥当であると判断する。